

研究課題名	肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究
研究実施者	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏
研究期間	承認日 ～ 2025年12月
対象者	2015年4月から2025年12月の間に、広島大学病院消化器・代謝内科で肝癌に対する薬物療法を受けられた患者。
意義・目的	本研究では、日本における肝がん薬物療法の実際の使用状況のデータを集積します。大規模データの解析により、最適な治療順を評価することを目的とします。また、治療コストに関するデータも収集し、医療経済的な側面からも各治療を評価することを目的とします。
方法	この研究は、国立国際医療研究センター倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。 NCD参加施設において2015年4月1日以降、当院で肝がんに対する薬物療法を受けた場合、その都度、臨床情報を収集します。
研究機関	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏 東京大学消化器内科・特任講師建石良介 慶應義塾大学経営管理研究科／健康マネジメント研究科・准教授後藤励
試料・情報の管理責任者	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏
個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの個人情報を含まない診療情報は、NCD上に構築された本研究用のデータベースに保管されます。NCD上での管理番号とあなたを同定する番号との対照表は、消化器・代謝内科の暗号化されたサーバー内に厳重に保管されます。この研究のためにご自分あるいはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2025年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究結果は、個人が特定出来ない形式にして学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。
本学の試料・情報提供責任者	

広島大学病院 消化器・代謝内科 相方 浩

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5190

広島大学病院 消化器・代謝内科 職名 准教授 相方 浩

既存試料・情報提供機関：広島大学